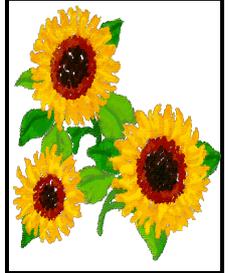


平成24年6月29日(金)

小田北だより 7月

尼崎市立小田北中学校 学校通信



■生徒会スローガン 「小田北中 一致団結 繋げ伝統」

6月22日(金)に生徒総会が行われました。今期の生徒会スローガンは「小田北中 一致団結繋げ伝統」となりました。充実した毎日を送るには全員の協力が必要です。一人ひとりが自覚を持ち団結することが大切という意味です。体育大会だけでなく良い伝統を続けていく決意表明です。また、“継続は力なり”と言うことで、東日本大震災への被災地への募金：アルミ缶回収も引き続いて行っています。冷水器購入のためのベルマークもご協力をお願いします。尚、生徒会からの要望事項も一理あるものもあり、市税収不足で予算がないのでどこまで改善出来るかわかりませんが、出来ることは1つでも要望実現していきたいと思ひます。



■トライやるに向けて -職業講話(2年生)-

平成10年度より全国に先駆けて行っている体験学習“トライやるウィーク”が9月10日から始まりますが、その事前指導の一環として25日(月)に朝日工業社長：田葦さんをお迎えしてお話を聞きました。田葦さんは現在は食満に工場がありますが、かつては工場が学校南側の工場群にあった縁でご来校頂きました。短い時間でしたが、中学校は人生の基礎である。目標をもって生活して欲しい、いじめはいじめる人に問題がある、命は一つ！大切に…など幅の広いお話をして頂きました。



教師以外で社会で働く人々の話を聞き、将来何らかの仕事に就いて社会の役割を担い世の中に貢献するだけでなく、自分の夢・進路・生き方を考える一助にして欲しいと思ひます。

■進化した？小田北中… 教育実習生は語る 「今の小田北…」

6月6日(水)より26日(火)まで、2名の卒業生が教育実習に来ていました。大学3・4年生ですから今から6・7年前の小田北とどのように変化しているか聞いてみました。

柳井美里(園田学園女子大4年)「当時、部活動が盛んで学校行事にも力を入れていました。小田北ソーランが今も続いていることは嬉しく思ひます。私の頃は女子だけでしたが男子が加わり迫力と力強さを感じました。学校生活では、礼儀正しきや人の話を聞く姿勢などが見られ、私たちの頃との違いに驚かされました。」

立澤典子(武庫川女子大3年)「実習初日の朝礼時のきちんとした整列状況を見て“今の小田北は違う…”と感じた。行事には全員が協力的で先生方と生徒が一心になって参加しているのは同じで、変わらなくてはならない事が変わり、変わって欲しくない伝統が受け継がれていてとても嬉しく感じます。」



■運動部3年生最後の大会：市内総合体育大会が始まります

水泳の6月30日(土)を皮切りに、運動部の市内大会が始まります。子どもたちが一生懸命頑張っている姿を見て応援してあげて下さい。試合日時や場所の一覧表は別紙を7月上旬に持ち帰ります。また、応援に行く生徒は制服を着用する等、様々なルールが決められていますので、ご配慮のほどお願いいたします。選手の皆さんは十分に体調管理をして努力した成果を存分に発揮して下さい。尚、文化部も吹奏楽は東阪神コンクール、ESS・合唱部は総合文化発表会に向けて頑張っています。

